

協力隊ニュース



キノコ×カブトムシ 出展



12月21日、春日原南自治会主催の餅つき大会に平松、伊藤隊員が参加しました。

杵と臼を使った昔ながらの餅つきを地域の皆さまと体験し、子どもたちの掛け声も響く中、会場は笑顔と活気に包まれました。

つきたてのお餅は、きなこ餅、あんこ餅、お雑煮などにして皆で味わい、会話も弾む中で、地域の伝統や文化に触れ、絆を深める貴重な機会となりました。



12月19日、年末の農作業として、道の駅おおき南の「くるるん農園」にて、カブトムシのフンを堆肥として散布しました。

昨年に引き続きの取り組みで、資源を循環させる環境にやさしい畑づくりを進めています。

今後は、この畑にスイートコーンを植えていく予定です。

カブトムシ 堆肥活用



平松隊員は日本酒が大好きで、過去におでん屋でアルバイトをしていた経験も活かし、全国の日本酒を取り寄せてそれぞれの味や製造方法を語る交流会を企画しました。

12月19日は、町内の企業や団体の方々をお誘いし、日本酒をきっかけに業種や世代を越えた会話が広がり、地域の近況や取り組みについての情報交換が進む場となりました。

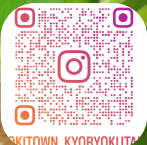
今後も、このような機会を通じて地域交流に努めていきます。

平松隊員の 特技紹介

大木町

協力隊Instagramのフォロー
よろしく願い致します

2026年も引き続き、様々な活動を通じて町の魅力を高め、住みやすい地域づくりに貢献してまいります。皆さまのご支援とご協力を、どうぞよろしくお願いいたします。



SKITOWN KYORYOKUTU